

①題：「神の栄光」(29分)

220528

説教者 : 海部明紀

聖書朗読 : 詩編 19 編 2～5 節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト「キリストへの道」114 頁

「神は多くの方法を用いてご自身を私どもに知らせ、私どもを神との交わりに導いてまいります。自然は絶えず私どもの感覚に話しかけていますから、心を開いているならば、神のみ手のわざにあらわされた神の愛と栄光に強く打たれるのであります。また、耳を傾けて聞かならば、自然界を通して神が語りたもうているのを知ることができます。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 264 番

終わりの讃美歌 : 希望の賛美歌 17 番

②題：「海を渡って」(33分)

230107

説教者 : 花田憲彦

聖書朗読 : 使徒行伝 13 章 8～12 節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト「患難から栄光へ」第 17 章

「この盲目は永久的なものではなく、一時的なものであった。それは彼に悔い改めをうながし、彼がはなはだしく背いた神に、ゆるしを求めさせるためであった。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 380 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 237 番

③題：「賜物、光、証」(42分)

231028

説教者 : 長谷川 徹

聖書朗読 : 歴代誌下 20 章 20 節

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト「初代文集」160 頁

「愛する読者方。わたしは、あなたがたの信仰と行為の基準として、神のみ言葉を推薦する。われわれは、その言葉によって裁かれる。神はその言葉の中で、『終わりの時に』幻を与えると約束された。それは信仰の新しい基準としてではなくて、神の民の慰めと、聖書の真理を離れて誤りに陥る人々を正すためである。神は、ペテロを異邦人の伝道に遣わすに当たって、このようなあしらいをなさったのである。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 29 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 324 節

◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>) に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などご利用ください。